



磯部 征児会員

芝東中学校、浦和商業高校を卒業し、専門学校へ進みました。その後「進め！電波少年」のADを経験いたしました。人生で一番キツイ時代だったように思います。そして33才の時に今の会社を立ち上げる事になるのですが、経営はとても大変でした。しかし、辛さんが入社し、辛さんと一緒に頑張りました。大変な事も多々ございましたが、大変な事を乗り越えて会社も少しずつ成長していきました。また、ロータリークラブに入会させていただいたり、娘の中学校のRTA会長を引き受けたり、今年は変化の年だと感じております。最後に来年1月から川口駅前に「お惣菜屋」を始める事になりました。ご利用いただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



植杉 勝紀会員

昭和47年生まれの49才です。趣味は釣りでございます。仕事の話をしていただきます。現在NPO法人を立ち上げて、川口市、蕨市から委託依頼で学童保育室を8校でお預かりさせていただいております。また、芝地区は高齢率が高いので高齢者の予防支援を目的とした校庭の草むしり等のお手伝いをする事業を芝小学校で行っております。この事業が、平成30年度全日本学校関係緑化コンクールにて、芝小学校が国土緑化推進機構理事長賞をいただきました。令和元年6月に天皇皇后ご出席の全国植樹祭にて表彰をしていただきました。私の中のキーワードは、“地域のために動く”でございます。



辛 榮勲会員

1973年生まれの48才です。韓国のベビーブーム世代になります。1993年に韓国人男性の義務である兵役の為陸軍に入隊しました。95年6月に無事に健康な体で兵役を終えることができました。そして25年前に板橋区の志村坂上にある日本語学校に語学留学で日本に初めて来ました。生まれて初めて見る視界いっぱい広がる満開の桜は一生忘れられない体験となりました。本当にきれいでした。その後、東放音響専門学校に入学し、卒業後が音響にかかわる仕事に就きましたが不規則な仕事でしたので、2011年に今のアイソンに入社いたしました。そして、盧先輩からのお誘いをいただき、この川口北ロータリークラブに入会させていただきました。ロータリークラブの基本理念である「奉仕」を、世界や地域社会のために続けられるようにしていきたいと思っております。



田口 圭子会員

会社設立のお話をさせていただきます。平成13年にさいたま市南区文蔵にて会社を設立し、平成17年に川口市芝へ移転して参りました。早、20年が経ち、当社は、心の通った警備、親切な警備、安心安全を創る事をモットーにしている会社でございます。また、明るく楽しい地域社会創りに貢献していくという会社でございます。これからまだまだ10年20年と頑張り、老後の私の目標である海外トラベルをしたいと思っております。これからも頑張っていきますのでよろしくお願ひいたします。



藤原 忠由会員

1月27日に父が他界し、家族葬とさせていただきますが、多くのロータリーメンバーの皆様にご参列いただきました。家族一同感謝申し上げます。父は昨年の夏の健康診断で肺に影があり、再検査をいたしました。しかし本人が認めず、セカンドオピニオンを受け、原発性肺癌ステージ4、余命2~3か月と診断されました。治療は化学療法に決まりましたが、薬が体に合わず、治療を断念いたしました。年末までは会社に出勤しておりました。知人には癌は消えたと嬉しそうに話していた事が印象に残っております。母がロータリークラブを退会するように勧めたのですが、絶対退会する事はありませんでした。父の情熱を傾けた心の支えになっていたロータリークラブに興味を持ち入会させていただきました。よろしくお願ひいたします。



奥富 精一会員

増田直前会長とご縁があり入会させていただきました。皆さんの卓話を聞いていて、それぞれにエピソードがあるのだと感動いたしました。私の仕事は電気工事と川口市議会議員の仕事をしていただいております。市議会議員の仕事は自分で判断する事を求められます。その時に試されるのが、私自身のものさしだと思います。しかし、そのものさしも狂ってくるものです。その狂ったものさしを修正するのは人なんだと思っております。私はロータリークラブにそういう所を期待しております。また、「社会への奉仕は人生最大の仕事である」という言葉があります。奉仕を英語に変換すると「サービス」です。渋沢栄一は公の為になる事が経済活動の根本だとおっしゃっておりました。それが「合本主義」です。また、渋沢栄一は社会福祉活動に熱心で老人や身寄りのない子どものための施設の運営にも力を注いだそうです。